

## 市長と語る会(青少年対策地区委員)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
1	市長に就任しての感想と、これからのビジョンは何か。	災害時の対応について訊かれることが多く、万が一の地震災害発生時には先頭に立って救助や災害復旧に努めていく責任を感じている。また、財政的には年ごとに厳しさを増している。災害対策のために、また、市民が主役となって仕事を進めていくために、市の組織改正を行ったので、これからだと思っている。
2	時代が変わる中で青少年対策地区委員会に求めるものとは何か。	子どもたちはまちの宝であり、いろいろな経験を積み重ねていくことで成長するが、家庭や学校ばかりではなく地域もその場のひとつであると思う。青少年対策地区委員会の皆さんには、地域、学校やPTAなどいろいろな団体をつなぐ掛け橋になって、子どもを見つめていただきたいと思っている。
3	事務事業点検にどのような期待をするか。また、今後の市政や財政にどのように反映させていこうと思っているか。	一昨年度より3年間で120事業を点検する計画で実施をしてきて、点検結果を契機に廃止、改善につながったものもある。期待することは3つ、まず、公募市民や他自治体職員に本市の事業を客観的に判断してもらえること、次に、職員が点検に必要な資料を作る際に事業の目的など根本に立ち返って考えること、そして、点検の判定が出されることで事業に関わる市民が、事業のあり方を見つめ直すことができることである。
4	就任してから、市民の声を積極的に聴いてきて、見えてきたこと、新たに気づいたことは何か。	前向きに市政に関心をお持ちの方、府中に愛着を持っていただいている方が非常に多い。また、それぞれの地域によって課題や要望が違っていると思う。
5	学校やPTAと協力して「ちびっこ相撲」という行事を続けているが、補助金が削減され運営に苦労している。地域では、青少年対策地区委員会やコミュニティ協議会、青少年委員などさまざまな団体が行事を行っているが、予算が削減されていくなか、どのように考えているか。	府中はイベントが多いとよく言われるが、似たような行事を集約した方が効果があるかもしれないので、イベントの見直しをしていこうと思っている。なお、財政的なことでは、今まで、どの部門も一律5%減、7%減ということで財政難を乗り切ってきたが、来年度は、一律ではなく事業をよく精査したうえで、減らすもの、減らさないものを決めていきたい。
6	各団体のイベントについて、企画運営するメンバーが掛け持ちしている場合が多く負担になっていると思う。また、イベントの開催期日も秋頃に集中し、同じ日に複数のイベントが重なり集客に苦戦するという状況もある。補助金交付日が早まれば実施日の集中が避けられると思うので、配慮していただけないか。	せっかく企画していただくのに、みんな同じ時期になってしまうのはもったいないので、外で事業をやりやすい時期は限られているが、同じ頃にならないよう差別化をしたほうがよいと思う。

## 市長と語る会(青少年対策地区委員)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
7	地域の行事に出てこないで問題を抱えているような子どもたちが各学校にいることや、保護者が精神的に不安定なご家庭があるということも伺うなかで、スクールカウンセラーの体制は、大規模校の場合、週1回では対応しきれないのではと感じている。市としてはどのように考えているか。	課題を抱えている子や家庭があることは、教育長ともども状況を把握している。今年度、月2回教育長との情報交換を行う体制を作ったなかでは、具体的にスクールカウンセラーが足りないという話にはなっていないが、学校の規模により必要性も頻度も違うかもしれないので、いただいたご意見について教育委員会と相談し、実態を把握していきたいと思う。
8	大型店が進出し、小さい商店の存続が難しくなっている。特に、商店街は子どもの見守りに協力できると思うが、例えば大型店にも商店街に加入してもらおうなど、共存共栄が図れるような支援をしてほしい。	教育、福祉、環境、災害時など商店街が持つ多面的な機能については、皆さん共通で認識していると思う。商店街への加入促進や活性化については、市で条例を作り対応しているが、引き続き努めていきたい。また、大型店と商店街の共存共栄については、今後もむさし府中商工会議所と連携しながら支援していきたい。
9	いろんな団体で予算が削減される中で、同じような行事が重なっている状況なので、行事のスリム化に向けて、文化センター、コミュニティ協議会、青少年対策地区委員会など、各団体間で協議するとよい。	いいご指摘をいただいたと思っている。青少年対策地区委員会もコミュニティ協議会も、市では担当部署が違うが、結局は担当される皆さんも参加する子どもたちも一緒であって、行事が重複するなかで、それぞれの予算を削減するばかりでは、現場の負担が増してしまうので、きちんと見直さないといけないと思う。
10	青少年対策地区委員会として、低学年や幼児ばかりではなく、もっと中学生と接する時間を持ち、彼らが、「府中は、いいまちだ」という思いを持って成長してほしいと思う。	
11	学校下校時などの見守りボランティアが市に登録されているが、どこで誰が見守りをしているという連絡が学校にもあるとよい。	どういった方がどこでやっているなどということは、学校長にきちんと伝えることが使命だと思うので、もしきちんと伝えていないのであれば、すぐに伝えるようにしたいと思う。
12	今年の成人を祝う会に出席されての感想を聞きたい。実行委員の子どもらが時間を割いてまじめに取り組む中で、あのような大騒ぎになり、残念に思う。どこかで一区切りをつけることも大事なのではないか。	今年は、午前中に行うとか、保護者の人が会場の中に入ってもいい、という工夫をしたため、前年と比べて静かだった気がするが、やはりどうしてこんな成人式になってしまっているのか、残念な気持ちになることはある。

## 市長と語る会(青少年対策地区委員)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
13	マンションなど高層建築が増えており、その結果、まちの死角も増えて子どもたちの安全が危ぶまれる。また、人口流入が止まらず、このまま高層建物の建設を進めていくと、人口1人あたりの市民税納税額より市民サービス享受額のほうが増え、市の財政をますます圧迫していくと思う。	大規模マンションの建設については、民有地であり、都市計画法上の用途地域などに基づいているため、制限することは難しい。ただ、晴見町や新町にある国の施設で近年中に他市へ移転するものについては、売却により乱開発にならないよう国と協議をするとともに、地域住民の皆さんに地区計画の提案を促している。
14	各種団体が市のバスを借りて研修を行っているが、来年度から中止になるという話を聞いた。当地区は研修が盛況であるので、何か支援していただけないか。	事務事業点検において、他の自治体では実施していないこともあり不要という評価を受けたが、それ以上の段階には進んでいない。有効に使っていただいた事業だと思うが、年間3,000万円から4,000万円はかかっているので、点検結果を踏まえて使い途など少し集約していく必要があると思う。
15	私たち青少年対策地区委員会は、ボランティア精神で子どもたちの健全育成のために活動しており、報酬は子どもたちの笑顔だと思っている。この笑顔がもっともっと地域にあふれるよう、これからも頑張りますので、活動資金のご支援について宜しくお願いします。	
16	西府地区は、芸術劇場や美術館などに行くのに乗り換える必要があり、また、自転車で行くには遠く、子どもだけで行かせられないことに不便を感じている。ちゅうバス一本で行けたらいいと思うので、考えてもらいたい。	ちゅうバスは交通不便地域の解消が一番大きな目的であり、西府駅ができた現在、不便地域という認識は持ちづらい。また、ちゅうバスによる市施設へのアクセスについては、しばしばご意見をいただくが、委託先のバス事業者などは、そのような観点で考えても実際の乗客は少ないだろうという見通しであり実現は難しい。ちゅうバス事業は、8,000万円から9,000万円ぐらいの赤字収支となっている。
17	行事が重なるということでは、2月のちびっこ文化祭と綱引き大会が重なっていて、両方に出る子どもはそれぞれの会場を自転車で移動しており危険なので、ずらしてもらいたい。	重ならないよう、スケジュールを検討していく。
18	放課後子ども教室事業は、昨年度まで実行委員会に委託されていたが、今年度NPO法人に移管されたようである。市の説明では、両者が一体となってやれば有効的な活用ができるという話だが、予算削減の埋め合わせに感じる。	より子どもたちが集まって盛んになるようにと考えての変更であるが、過渡期でもあり、よりよい形となるよう、少し時間をいただいて考える。

市長と語る会(青少年対策地区委員)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
19	放課後子ども教室事業や青少年対策地区委員会に対する委託金(補助金)について、各地区で児童生徒数は異なるのに、金額が一律なのはなぜか。当地区は児童生徒が大変多く、予算が減ってきたうえに印刷代、用紙代がかかるので、非常にきつい状況である。	今まで一律にしてきた意味合いもあると思うが、予算が乏しくなればそう思われるのは当然だと思うので、そもそもどういふことで予算をつけたのかといふところに立ち返って考えないといけない。貴重なご意見として今後検討したい。
20	昨年度まで無料だった印刷代、用紙代が、今年度より委託金の中で賄うように変更したのはなぜか。委託金の一律削減もあり、年間行事を絞らなければならないと考えている。	用紙代については、今まで必要な用紙を用意していたが、使う地区と使わない地区でかなりの差があったことから、コスト削減のため、補助金の中で用紙を購入するよう変更させていただいた。また、印刷代については、今まで文化センターの印刷室使用に際して、一部の団体について無料にしていたが、目的と違うことに使用されたりしたため、印刷機の入替えと併せて、すべての団体について料金を一部ご負担いただくことと改めさせていただいた。
21	東京都の推進事業である小学校校庭の芝生化について、問題点も出ていると思う。芝生が畑みたいな状態になっていて、子どもが捻挫する件数も多くなっている。また、昇降口前など出入りの激しいところは、はげてしまっている。芝生化を今後推進していかない方向もあるのか、考えを訊きたい。	PTAや地域の皆さんに芝生の維持管理にご協力いただく前提で、東京都からの補助金を受けて、全22校の芝生化がスタートしている。現在7校を芝生化したが、芝生化後の維持管理費用は1校年間300万円ぐらいかかっており、22校全部を芝生化すれば7,000万円にもなる。また、都の補助金がなくなった場合、市だけで全校整備するのはとても困難という状況にある。皆さんのご意見を聴いてみたい。
22	【市長の発言を受けて】 芝生化のメリットは「ほこりが立たない」ぐらいしかないと思う。あとは、メンテナンスは大変だし、実際、畑のようになって子どもたちの怪我も増え、野球もサッカーもやりづらい。運動会にあわせてきれいにしても、1年たつと畑のようなボロボロの状態になっている。このようなことがこの先何年も繰り返していくことを考えると、やっていく意味がないと思う。	
23	【市長の発言を受けて】 当地区の小学校では、土壌を入れる段階で、業者が石やガラスの破片混じりの土を入れたため、結局また費用をかけて、土を入れ替えることとなった。メンテナンスに費用がかかるのに、このようなことがおきるのでは、この先も進めていくことに反対である。	

市長と語る会(青少年対策地区委員)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
24	<p>【市長の発言を受けて】                      当地区の小学校では、子どもたちが芝生の苗を種から育てて植え替える授業をしている。また、夏休みに防災教育を兼ねた宿泊体験において芝生を体験してもらうなど、前向きな考えのある学校もある。</p>	
25	<p>【市長の発言を受けて】                      校庭の芝生は、維持するためには半年以上養生が必要である。そのために、子どもたちが校庭で思うように遊べないことが問題だと思う。</p>	
26	<p>正副委員長会でやっているソフトバレーが、いつも青少年音楽祭と重なる。学校の先生方が双方を行ったり来たりして、移動が大変なので、日程については、ぜひ検討をお願いしたい。</p>	